

令和3年度 事業報告書

I. 法人の運営状況

・当法人は、幼保連携型認定こども園あいいくの丘の運営を行っている。また、丹波市からの委託を受け竹田・前山の両アフタースクールを運営している。

令和3年度は、前年度と比較して0・1歳児の園児数が多かったこと、延長保育事業や特別支援保育事業の実施により、資金収支で積立金を取り崩すことなく運営ができた。

(参考までに記す：社会福祉充実残額は約△77百万円)

- ・職員の処遇改善について、新たな国補助制度等を活用し改善に努めた。
- ・人材確保について、必要な職員数の確保とともに、良質な雇用を創出するため新卒2名を新規採用した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、丹波市からの補助を活用し必要な備品や用品を購入し感染症対策を実施した。

II. 認定こども園あいいくの丘

(1) 利用定員 135名 (1号認定児 25名、2号・3号認定児 110名)

(2) 保育日数 2・3号認定児 291日(内希望児土曜保育 46日) 1号認定児 214日

(3) 令和3年度園児数

令和3年度 在園児数																
1号認定	年齢	認定区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
		3歳児	教育標準	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	58
	4歳児	教育標準	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96	
	5歳児	教育標準	6	6	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	69	
	小計		18	18	18	18	18	19	19	19	19	19	19	19	223	
2・3号認定	0歳児	標準時間	1	1	1	2	2	3	3	3	3	4	5	6	34	
		短時間	5	5	5	6	6	5	8	8	8	8	7	7	78	
	1歳児	標準時間	8	8	9	10	9	9	9	9	9	7	8	9	9	104
		短時間	8	8	7	7	9	9	9	9	10	13	11	11	11	113
	2歳児	標準時間	8	8	8	9	9	9	8	8	8	10	11	11	10	109
		短時間	16	15	14	14	14	14	15	15	15	13	12	12	12	166
	3歳児	標準時間	15	15	16	17	17	17	17	17	17	16	17	18	18	200
		短時間	13	13	11	10	11	11	11	11	12	13	11	10	10	136
	4歳児	標準時間	11	11	11	10	9	8	8	8	8	9	9	9	8	111
		短時間	10	10	10	11	11	12	12	12	11	10	10	10	10	127
	5歳児	標準時間	13	13	12	14	14	14	14	13	13	12	12	12	12	154
		短時間	14	14	14	12	12	12	12	13	13	14	14	14	14	160
		小計		122	121	118	122	123	123	126	127	128	127	128	127	1,492
	合計			140	139	136	140	141	142	145	146	147	146	147	146	1,715

(4) 職員数

・令和 3年 4月 1日・・・56名

事務長1名、園長1名、副園長1名、主幹保育教諭2名、管理栄養士（給食室主任）1名、看護師1名、保育教諭27名、保育士9名、保育補助1名、栄養士1名、調理師2名、事務職員2名、バス運転手2名、アフタースクール指導員5名

・令和 4年 3月31日・・・52名

事務長1名、園長1名、副園長1名、主幹保育教諭2名、管理栄養士（給食室主任）1名、看護師1名、保育教諭25名、保育士8名、保育補助1名、栄養士1名、調理師1名、事務職員2名、バス運転手2名、アフタースクール指導員5名

(5) 行事

月	主 要 業 務 事 項
4	3. 入園・進級式、保護者会総会（中止） 8. 竹田・前山小学校入学式（祝電のみ） 18. 資源ごみ回収（保護者会）、19～30 家庭訪問（個別懇談に変更実施）
5	25. さつまいものつるさし ※大原まつり・花まつり・田植え体験（中止） ※オープン参観日・引き渡し訓練（延期）
6	6. 県保育協会就職フェア 10・16. 指導主事による園内研修 17. 歯科健診 29. 前山小学校交流 ※しょうぶまつり（中止）
7	1. プール開き 9. チャレンジ保育 5. 奉仕作業 13. 総合避難訓練 15. 夏のお楽しみ会 20. 21 オープン参観日 27. 福知山市巡回相談 1号認定児夏休み(7/31～8/31)
8	12. サッカー教室 19. 20. 23. 25. 26 個別懇談 ※プール参観（中止）
9	3. 交通安全教室 5. 奉仕作業 7. ぶどう狩り 21. 栗拾い
10	5. 入園説明会 9. 運動会 15. 食育コンサート 18. いもほり 19. ひかり組バス遠足 24. 資源ごみ回収（保護者会） 28. つき組バス遠足 28. 丹波市就学時健診 ※竹田祭り（中止）
11	1. 絵画教室（ひかり組） 2. たいよう組バス遠足 8. 絵画教室（たいよう組） 9. ひかり組ムッレファイナル 12. オープン参観・引き渡し訓練 15. 総合避難訓練 16. 17. 18 中学生トライやる 17. 収穫祭 19. たいよう組ムッレファイナル 23. 丹波市就職フェア
12	4. あいいくフェスタ Part1 7. ちーたんサンタ来園 8. 前山小学校交流会 16. もちつき会 17. 人形劇鑑賞（劇団バク） 21. 丹波市法人監査 23. クリスマス会 25. 1号認定児冬休み
1	6. 第三者委員会 7. 新年おめでとう会、七草がゆ、巡回相談 13. どんと焼き 21. 新型コロナウイルス感染対応
2	3. 豆まき会 15. 竹田前山小学校説明会 19. あいいくフェスタ Part2 22. 入園説明会 22. 24. 25 竹田前山小学校体験登校・入学 ※福知山市立各小学校事前保育参観、引継ぎ
3	11. お別れ会 15. しいたけ菌打ち（ひかり組） 24. 卒園・修了式 25. 1号認定児春休み

※週・月間行事・・・絵本貸し出し、誕生会、英語あそび、避難訓練 交通・安全教室

※年間行事・・・ムッレ・クニニュータナ教室（春・秋）、クッキング保育

野菜の栽培・収穫・クッキング、小学校との交流、地域との交流

※実習受入状況

・給食実習（大阪成蹊短期大学）1名・・・令和3年9月13日～17日

(6) 保健衛生

月	主 要 業 務 事 項 (園行事等)
5	24. 31 内科健診 9. 30 検尿検査
6	17. 歯科健診
9	24. 未就園児健康講座
10	内科健診 (中止) たいよう組親子対象歯科指導 (中止)
2	22. 入園進級説明会において看護師より健康講話

- ※ 月 1 回身体計測 週 1 回 清潔検査 (爪、髪) 随時希望保護者との健康相談
- ※ 体調不良児 141 名
- ※ 職員健診 5 月末～3 月末 全員受診 ※ 職員インフルエンザ予防接種
- ※ 新型コロナウイルスワクチン接種 (7 月・8 月)
- ※ 7 月薬剤師により環境調査、3 月コロナ感染症対策について来園

(7) 食育活動 (給食室)

月	主 要 業 務 事 項
4	20. 食材ウォッチング 24. 誕生日会
5	えんどうのスジ取り (中止) 食材ウォッチング 5 歳児保護者給食試食会 (延期) 25. さつま芋のつるさし 給食参観 (中止)
6	16. たいよう組よもぎパン作り 19. 食材ウォッチング 26. 誕生日会 保護者クッキング (中止)
7	14. 食育講座 (わくわく) 16. 食材ウォッチング 17. 誕生日会 5 歳児保護者給食試食会 (中止)
8	とうもろこし皮むき (中止) 20. 誕生日会 ブルーベリー摘み (中止)
9	ブドウ狩り (中止) 食材ウォッチング (中止) 18. 誕生日会 4 歳児保護者給食試食会 (中止)
10	8. 芋堀り 12. ハローウィンパーティ 16. 誕生日会 19. 食材ウォッチング 28. つき組クッキング
11	13. 収穫祭 19. 食材ウォッチング 20. 誕生日会 0～3 歳児保護者給食試食 (中止)
12	5. フェスタ用クッキー作成 11. 餅つき大会 18. クリスマス誕生日会 24. たいよう組クッキング
1	8. 七草がゆ 15. 誕生日会 19. 食材ウォッチング
2	2. 豆まき 12. 誕生日会 ひかり組クッキークッキング (中止) 19. 食材ウォッチング
3	3. ひな祭り誕生会 5. お別れ会リクエストメニュー 16. 食材ウォッチング

- ※ 3 色群分け 食事のマナー指導 給食献立掲示 アレルギー対応

(8) 特別支援

対象園児 5 名・・・コーディネーター 1 名、加配保育教諭 4 名・

(9) 認定こども園運営の概要

① 保育・教育

- ・令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、発生状況及び行政からの通知等を確認しながら日々の保育及び行事を改善していった。

- ・園の目標である「五感で四季の移り変わりを感じ、自然と共にとくましく育つ子」を常に意識しつつ、コロナ対策を取りながらの活動となった。またネットワーク会議等において密にならない活動方法等を模索しながら野外活動の充実に努めた。
 - ・幼児期から児童期における教育の連続性・一貫性を大切に、「学びの芽生え」を培うべく、園内研修において「人と関わる力」、「生活する力」、「学ぶ力」の三つの柱を掲げたカリキュラムを作成し、日々の保育の充実に励んだ。
 - ・園が子ども達にとって楽しく、居心地のいい場所であることを常に意識し、子ども達の興味や関心、発達状況等にふさわしい環境構成を基本にしつつ、保育活動や給食時等の密をさける環境に努めた。
 - ・卒園児の令和3年度の入学先は、丹波市2校、福知山市4校、西宮市1校、及び長岡京市1校の合計8校であったが、各小学校とは年度当初から連携を深め、子ども達がスムーズに小学校生活を送れるように配慮した。
 - ・また、転居等により他園に転園する園児に対しても情報交換や指導要録の送付等を行った。
 - ・例年実施している各種団体の方々との交流に関しては、新型コロナウイルス感染症予防対策のためほとんどの交流を中止せざるをえなかったが、里山会の方との里山における椎茸の菌打ちのみ行った。
 - ・アレルギー対応については、看護師及び管理栄養士の指導の下で職員全員において情報共有しているが、具体的内容を保護者に何度も確認しなければならないケースが増加傾向にある。
 - ・食育活動として野菜の栽培や米の生長観察を行ったが、感染予防対策の観点から、自分で触れたものだけを口にすることに配慮したクッキングを行った。また、秋に実施している収穫祭は、収穫した野菜を調理室で調理し、4・5歳児はマイラップでおにぎりを作って昼食とした。
 - ・感染症については、新型コロナウイルス感染症予防対策として消毒や換気、マスクの着用等を徹底したことにより、インフルエンザや風邪等感染する病気が流行ることがなかった。
 - ・支援の必要な園児、保護者に対しては関係機関との連携を十分に図り、また園内においても特別支援担当者の会議を定期的で開催して支援方法について検討し、最適な支援を行った。
 - ・令和3年度は新卒者を2名採用し、充足した職員体制を継続することが出来た。また、昨年度に引き続き県の保育人材確保対策貸付事業制度の活用や、意欲のある人材を確保する目的で、保育補助として勤務しながら保育士の資格取得を目指す職員を継続的に雇用し、人材確保に努めた。
- しかし、家庭の事情等により、令和2年度末に常勤職員3名が勤務時間に融通が利く常勤的非常勤に雇用形態の変更を希望したため、中堅に該当する30代の常勤職員が少なくなり、バランスのよい職員配置について見直す必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染の対応について、看護師を中心に迅速に対応して感染予防に努め、卒園式等も予防策を講じながら実施した。(保護者席の間隔等)

②職員研修

- ・丹波市教育委員会より講師として指導主事を派遣いただき、全クラス公開保育研修を行い、保育の資質向上に努めた。
- ・丹波市のキャリアアップ研修以外の研修に関しては、Web開催での研修が多く、新人研修、

保育教諭研修、調理師研修、主幹保育教諭研修、園長研修等、それぞれの職務に適した研修をオンラインで受講し個々の資質向上に努めた。

③家庭との連携

- ・子ども達が初めて親元から離れ協同で生活する場であるということを重要視し、新入園児に対して、園児は元より保護者の方に不安を感じさせることがないように、きめ細やかな連携を図ることを心掛け、誠意をもって保護者対応を行った。進級児に対しても保護者の声には常に耳を傾け、また家庭での様子も把握しながら園と家庭との連携を大切にしました。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策に対して不安のある家庭や、自粛要請期間中の自粛希望家庭に対しては、園との距離感を感じることのないようオンラインで担任との交流を図り、保護者の不安が少しでも軽減するよう努めた。
- ・保護者の要望等に対しては内容をしっかり受け止めたうえで、園の方針をブレさせることなく、全ての保護者に対して公平であることを常に意識して対応することを心掛けた。
- ・各たよりやよい子ネット、ホームページ等を活用し、園での様子や子育て支援についての発信を迅速、的確に伝えることに努めた。

(10) 子育て支援室の開設

○ 開催回数 96 回、利用者数 539 名（親子延べ人数）

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策や緊急事態宣言等により開催出来ない時もあったが、電話や個人的に相談に応じる等、基本的な子育て支援事業として週 2 回「わくわくひろば」を開催した。（状況に応じて人数制限を行った）
- ・保育体験として園行事への参加を呼びかけ、わくわくひろばで季節の行事を開催するとともに、親子で参加可能な野外活動として「森のオープンプレスクール」等を実施した。
- ・2名のベテラン職員を配置し、子育てについて気軽に話せる場づくりを常に意識し、地域の未入園児家庭に対する情報発信を心掛け、月 1 回、「わくわく通信」を発行し、各戸配布した。
- ・個人情報の関係もあり、地域の未入園児の把握が十分に出来ないため、子育て支援が受動的になってしまわないかが今後の課題である。

Ⅲ. アフタースクールの運営

- 竹田アフタースクール登録児童数 令和 3 年 4 月 23 名 ・令和 4 年 3 月 18 名
- 前山アフタースクール登録児童数 令和 3 年 4 月 17 名 ・令和 4 年 3 月 16 名

- ・下校後の児童が安らぐ環境を意識し、安全で規則正しい時間を過ごせるように配慮した。
- ・個別支援の必要な児童に対して人員を配置し、個別支援を実施した。
- ・長期化する新型コロナウイルス感染症拡大に対応していくため、消毒、換気及びマスク着用を徹底するなどの予防対策を行った。
- ・児童の様子については小学校との連携を十分に取り、小学校の先生にもアフターでの児童の様子を見学してもらう機会を作った。

※月 1 回防災訓練の実施 ※指導員研修会参加（随時） ※保健衛生の講話（随時）